


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

●会長 白石 繁
●幹事 村瀬 直久

 No.1621 平成 30 年 07 月 11 日 第 2 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



インスピレーションになろう

■点鐘

■国歌斉唱

■7月のうた「荒城の月」「われは海の子」

■来訪者紹介 (会長 白石 繁)

見学 工藤素子 様

■見学者挨拶

工藤素子 様

■会長の時間 (会長 白石 繁)

この度の西日本を中心とし降り続いた記録的な大雨の被害は、連日拡大し 今朝の新聞報道によると、死者は12府県で145人となりました。

安否不明者は、58人で今後更に増えるだろうということです。

昨日10日で1万人が避難所に身を寄せ、約25万人5000人が断水しているとのこと。

被災地では、警察・消防・自衛隊が暑さの中 捜索救助活動を行っています。また多くのボランティアが全国から現地に駆けつけています。 本当に頭が下がる思いです。

テレビで被災にあった方や壊れてしまった家屋を見ていると、2年前の熊本地震の時のことを いやでも思い起こします。

私も職業上 多くの避難所や学校を回りました。

避難して床に横になっている人、このままでは怖くて体育館を生徒に使わせることができないという校長。

そのような状況の中で 建物の被害調査や安全確認を連日行いました。

何故 建物がこんな悲惨な状況にならなければならないのか？そして 被害にあった人たちは、なぜこんな悲惨な目に会わなければならないのか？

建築設計に携わってきたものとして、これまで何か基本的な過ちを為しているのかもしれない。そんなことを考えさせられたこと



を思い出します。

そして今、私は勿論、皆さんもロータリアンとして どうしても思い出さなければならないことがあります。というより 忘れてはならないことがあります。

あの時全国から届いた支援物資、駆けつけてくれたボランティア。我が熊本東南クラブにも、「災害復旧に役立ててください。」という多額の義援金が届けられました。

この度の甚大な被害が発生している西日本豪雨。 私たちは今、何をすべきでしょうか。

本日、臨時理事会を招集いたします。私たちが為すべきことを急ぎ理事の皆さんにお計りいただきたいと思ひます。

■幹事報告 (幹事 村瀬直久)



1)

高山泰四郎ガバナーより、映画『プレス しあわせの呼吸』試写会などの案内。

英国のポリオサバイバーの実話を描いた感動的な映画『プレス しあわせの呼吸』(原題『Breathe』、配給元: K A D O K A W A) が日本各地で公開される運びとなりました。

熊本・大分での上映は予定されていないようですが、機会があればぜひご覧ください。チャリティ上映会(貸切)も企画できるようですが、その際は主催クラブが劇場と直接交渉をしていただくこととなります。

2)

慈愛園子供ホームより、会報「きっず Vol.48」の送付。

3)

熊本少年友の会より会報の送付。

4)

第1回定例理事会報告。

■今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者	
7月	7月14日(土)	管理運営セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	村瀬直久、松本一也、中島祐爾、福井学、佐野茂、松本繁
	7月14日(土)	職業奉仕研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	古田哲朗、宮川義行
	7月21日(土)	米山記念奨学会夏季研修会	熊本県阿蘇市	阿蘇YMCA	翁力棟、山田公也、宮川義行
8月	8月2日(木)	慈愛園サマーキャンプ	熊本県阿蘇郡西原村	阿蘇ミルク牧場	案内中
	8月5日(日)	米山記念奨学会部門セミナー	熊本県熊本市	メルパルク熊本	白石繁、村瀬直久、山田公也
9月	9月8日(土)	伝承遊びの集い	熊本県熊本市	泉ヶ丘校区公民館	案内中
	9月8日(土)	荒尾RC創立40周年記念式典・祝賀会	熊本県荒尾市	ホテルヴェルデ	白石繁、村瀬直久、宮川義行、山田公也
10月	10月6日(土)	日田RC創立55周年記念式典	大分県日田市	昭和学園高等学校、マリエールオークバイン日田	案内準備中

■委員会報告

(社会奉仕担当 吉田嘉昭)



慈愛園サマーキャンプの件 8月2日(木)「阿蘇ミルク牧場」

■委員会報告

(親睦・スマイル担当 中島祐爾)



日帰り親睦家族例会の件 9月1日(土)
「世界文化遺産を巡る!!天草満喫日帰りの旅」

■委員会報告

(長期戦略委員長 松本繁)



2018～2019年度 第1回長期戦略委員会
平成30年7月11日(水) 13:45～、
熊本ホテルキャッスル「九曜杏」
出席者 白石会長、白木直前会長、内田会長エレクト、
永野副委員長、松本繁

- (松本一也副会長は欠席)、オブザーバー 彌富会員
1. 今年度長期戦略委員会 活動方針・実施計画について
 2. 熊本東南ロータリークラブの歌 作詞、作曲について
 3. その他

■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



アクト例会出席報告 7月10日
清水公民館

河上会長所信表明

熊本東南RAC 5名、熊本北RAC 2名、熊本東南RC 2名
(松本一也、宮川義行)

※水害支援の募金活動を7月29日予定しています。
熊本東南RCの協力をお願いすると思いますので宜しくお願いします。

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 福井 学)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
06月27日	45 (免3) 42	26	8	34	80.95
07月11日	45 (免2) 43	35			81.40

☆新入会

07月04日 杉本整哉

☆退会

06月30日 益田敬二郎

☆出席免除

06月27日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

07月11日 住江正治 島村徹男

☆欠席者(8名)

06月27日 益田敬二郎 内田敏視 西村陽介
山本浩之 堤 勝也 山本修三
岡本千代門 山坂哲生

今度の100%出席の日は 07月25日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 緒方公一)



◎村瀬直久 100,000円

遅ればせながら、謹んで新年お慶び申し上げます。今年一年どうぞよろしくお願ひいたします。

先週、先々週と一足早い夏休みを頂きました。新年早々、欠席し大変申し訳ございません。休暇中は、本荘にある建物の12階(最上階)のスイートルームにて3食ルームサービス!!四六時中管につながれ熊本城を眺めていました。まさか、沼田さんに2週続けてお会いするとは思っていませんでした。展望レストラン(待合室)にてお茶(ペットボトル)しました。そこで、私の状況を報告頂きありがとうございます。

傘寿、喜寿を迎えられた皆様おめでとうございます。黄色、紫色のちゃんちゃんこが似合っていました。

松本繁会員、金婚式おめでとうございます。

最後に古庄会員のフレーズを引用させて頂き、今年35周年です。経費の一部になればと思いますスマイルします。

◎宮川義行 5,000 円

先日の水害の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。アクトから支援の動きが出ています。できるだけの協力をしていきたいと思ひます。先週の土曜朝 5 時出発、鹿児島照国の現場に向かいました。高速全面通行止めのため、下の道で 5 時間かかり、日曜日の夕方に向け、ぶっ続けのどしや降りでした。帰りの日曜は、人吉ー八代通行止めで、久々人吉から下の道を帰ってきました。小倉ー門司も通行止めなので、高速を利用される方は気をつけて下さい。

◎小畑成司 5,000 円

先週はシンガポール出張の為、本日が新年度初めての出席です。白石会長、村瀬幹事、1 年間頑張ってください。

6 月は永田年度最後の仕事、カナダ・トロントの国際大会に行つて参りました。今回は初めて古田会員、宮川会員にも出席いただき色々な意味で楽しい時間を過ごしてきました。来年はドイツのハンブルグです。来年は 60 名行きます。ぜひ新入会員の方もどうぞ。

最後に、例会見学の工藤さんに歓迎のスマイルをします。

◎沼田敏雄 5,000 円

7 月 23 日誕生日、先週誕生祝いありがとう御座いました。57 才になります・・・？

◎前田昭博 3,000 円

健康スマイル。

◎松岡泰光 3,000 円

妻への誕生日プレゼントありがとうございました。今年の赤ワインもすごく美味しかったです。1 時間たらずで飲み干しました。ごちそうさまでした。

◎彌富照皇 2,000 円

工藤さんのご見学を歓迎いたします。ご入会を楽しみにしていません。

■新年度方針 (クラブ管理運営委員会 代理：福井学)



活動方針

高山ガバナーより重点取組事項として、「クラブの活性化」が示されましたが、それを目標にするまでもなく、我がクラブでは今期 9 名以上の新入会員が入会せんとしています。

これを機に、我がクラブの運営・管理・活動を強化し、新入会員及び入会勧誘者に対して、胸を張って「良いクラブに入ったね」、あるいは「良いクラブだから是非とも入会して下さい」と言える、全国に誇れる魅力的なクラブにする必要があります。

そのためには、親睦などを通じて、より楽しいクラブに進化する一方で、出席義務を真摯に受け止め、各委員会に対する積極的な参加を実践する事が大事であると考えます。

実施計画

各担当職務(機能)の実施計画のとおり。

■新年度方針 (親睦・スマイル担当 中島祐爾)



1. 家族会 7 月第 3 水曜日、
12 月第 3 水曜日
2. 日帰り旅行 9 月 1 日土曜日 (天草)
3. 受付 全員で受付に立つ
4. スマイル 1 人年間 24,000 円目標
(連名で小口のスマイルを進めていきます)
5. 新入会員歓迎会 入会予定者もいらっしやるので
早速今月から来月予定
6. その他 ゴルフコンペ、魚釣りなど企画

■新年度方針 (出席・プログラム担当 福井学)



活動方針

(1) 出席：

本クラブ例会への出席を本旨とし、もし、諸般の事情で出席できない場合は、他クラブ例会その他奉仕活動(伝承遊び・ローターアクト例会等)への出席によるメイクアップを促し、100%出席を目標とする。出席報告については、全委員が分担して行なう。

(2) プログラム：

前年度のプログラムを参考に、魅力ある卓話を実施する。7 月に運営委員全員が集まって卓話の日程を決める。

実施計画

(1) 出席：

出席率の向上を目標に例会への出席を促し、欠席した場合には、他クラブ例会・その他奉仕活動出席によるメイクアップ情報を提供し、出席を促す。

事前に欠席が分かっている場合には、出来るだけ事前のメイクアップを推奨する。

(2) プログラム：

外部卓話を 5 回(担当月間委員により手配)、新入会員卓話を 5 回(15 分×2 人)、委員 会員卓話を 11 回(30 分)を開催し、外部卓話については広い分野から興味ある卓話を行う。

■新年度方針 (会報・雑誌担当 松岡泰光)

会報・雑誌・・・例年通り行う

活動方針

毎月【ロータリーの友】の記事紹介



実施計画

- (1) クラブウェブサイトの活用促進
- (2) ロータリー活動の対外的広報活動の増強
- (3) 週報において新入会員紹介コーナーを設け、より活発な親交を促進する。

■新年度方針 (ロータリー情報担当 佐野茂)



新年度におけるロータリー情報について

新年度のロータリー情報委員は、佐野、鈴木、潮谷の3名で行います。

まず活動方針ですが、2016年規定審議会において、世界全ロータリークラブで統一されていた例会の開催回数および出席ならびに会員身分に関する規定が、クラブ裁量によってクラブ細則に規定すれば変更可能と改正されました。すなわち、例会の毎週開催が月2回以上であればよいということになりましたが、わがクラブは慎重審議の結果、従前通りが最も適切であると判断し、何ら変更することなく実施することとしており、今後においてもその徹底を図ることとします。

そして、具体的な実施計画としては、まず例会においてロータリー情報を3名の委員の輪番制で実施します。3名それぞれにテーマをもって実施しますが、私はロータリーの基本理念を中心に実施したいと考えております。ただし毎月の第一例会は入会式、誕生会等の行事がありますし、また、家族会など特別行事がある場合はロータリー情報を割愛いたします。

それから、新会員の入会に際しましては、入会直前にロータリーの基本についてのインホームションを実施します。

また、できれば年度前半において、入会2年未満の会員を対象にロータリー勉強会を実施しようと考えております。

なお、年度の後半においては、2019年規定審議会が開催され、ロータリークラブ定款の改正が行われた場合には、改正点の周知徹底をはかることとしています。

以上のような計画を考えています。

それから、情報委員会の所属が、従来はクラブリーダーシッププランに基づいて、会員増強委員会所属としていましたが、新年度以降は管理運営委員会所属とします。情報委員会の目的は、会員に対する啓発が主体ですので、管理運営委員会所属のほうが適切ですので修正します。

■新年度方針 (会員増強委員長 内田信行)

活動方針

充実した奉仕活動が続けるために、退会防止に努め、会員数を増やしていく。

実施計画

- (1) 長期戦略委員会目標50名設定に向けて達成したい。
- (2) 女性会員の増強をしたい。
- (3) 例会において、会員増強をお願いしていきたい。



■点鐘

編集者 松岡泰光

イギリスのアン王女がポリオ撲滅におけるロータリアンの尽力に感謝

ロータリー会員による「驚くべきグローバルネットワーク」を称賛
記事：Geoff Johnson 写真：Alyce Henson

トロント国際大会で講演したイギリスのアン王女殿下は、ポリオ撲滅活動におけるロータリアンの尽力に感謝の意を述べました。



さまざまな活動の達成と世界中の政府から最高の尊敬を集めてきたロータリーを称賛したイギリスのアン王女殿下

6月24日、トロント(カナダ)のエア・カナダ・センターで行われた2018年ロータリー国際大会に臨席したアン王女殿下は1970年以来、子どもの保健、教育、保護、災害救済の分野で活動する国際的な非政府組織「セーブ・ザ・チルドレン英国」の会長を務めています。

セーブ・ザ・チルドレンは、1980年代初めにアフリカでポリオ撲滅を目指した試験的プログラムを開始したものの、一番必要とされる場所にワクチンを届けることの困難さを知ったと、アン王女は述べました。

ロータリーは、その「驚くべきグローバルなネットワーク」、文化や言語に対する深い理解、「無視無欲の会員」を有し、ほかの組織が克服できなかった困難を独創的に乗り越えてきたとアン王女は続けました。このようにしてロータリーはパートナー組織とともに、世界からポリオをほぼすべて撲滅するにいったつと、その活動に感謝の意を表しました。

さらにアン王女は、120万人のロータリアンを一堂に集めることは困難なので、国際大会という場でロータリアンへのお礼を述べるのが最善だろうと述べ、会場を沸かせました。

エリザベス・ダウズウェル・オンタリオ州副総監ならびに同州における英国女王代理は、アン王女を「ロータリアンの理想である超我の奉仕を体現する人」とであると紹介し、「彼女はその人生を、卓越した活動をしてきた人や組織に光を当てることに捧げてきた」と述べました。

ダウズウェル副総監はまた、セーブ・ザ・チルドレンでの活動に加え、300以上のボランティア、非営利組織、軍関係組織の会長またはパトロン、および複数の大学の総長としてのアン王女の功績を紹介。さらに、ガーター勲章ならびにスコットランドでの慈善活動が称えられて、シッスル勲章を授与されていると述べました。

エリザベス2世とエジンバラ公フィリップ殿下の第2子で一人娘であるアン王女には子どもと孫がいます。

スピーチの中でアン王女は、ポリオ撲滅後に取り組むほかの世界的課題についてロータリーはすでに考えているかもしれないが、まだ考えていなくても心配する必要はない、と述べました。これまでロータリーが達成してきたことや、世界中の政府から最高レベルの尊敬を得ていることを考えれば、「次に取り組む課題の提案が次々と寄せられるに違いない」とアン王女は結びました